

むこう...ふぁみさぽ

ワークショップ交流会で自分発見!



5月8日「思いを形に～紙遊び教室」では、12名の方が初めてのちぎり絵に挑戦!「色も形も現れるものすべてが自分自身」という講師の言葉に、喜んだり、嘆いたり... ストレッチも交え楽しい時間でした。



先生の温かな人柄にとってもいやされました。今の自分の心が現れているようで楽しかったです。

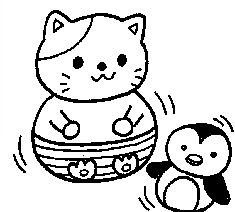


7/8『ふぁみさぽルーム』

2か月の双子さんは抱っこで終始ご機嫌。初めは楽しく遊んでいた1歳のお子さんは、途中からママがいないことに気づいて泣きながらも頑張っていました。



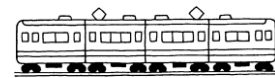
詳しい報告はホームページをご覧ください



「ふぁみさぽルーム」での出会いから、その後も双子さんの健診時フォローや、自宅での預かりなどを援助会員さんに依頼。末永いおつきあいを...!(^)!



9/10『ちょこっと列車』



お顔合わせ

7か月から1歳までのお子さん3組が参加。ママが帰ってきてからやっと安心してもっと遊びたい様子。また遊びにきてね。



～出張登録会のお知らせ～

子育てセンターのお遊び会や保健センターでの健診時に定期的に依頼会員登録会をしています。ママ友や近所のお知り合いにお声かけください。

- ☆ 前期健診（保健センター）
- ☆ ふちぴよ（第1保育所内「さくら」）

向日市ファミリーサポートセンター



〒617-0002

向日市寺戸町東野辺 31

保健センター2階

TEL/FAX (075) 932-7831

物集女街道

向日市ファミリーサポートセンター
(保健センター2階)



スーパー ○

競輪場

消防署

医院 ○

令和7年度 子育てサポーター養成講座を 開催しました！

5月から7月にわたって、基礎講座（全5回）を実施し、15名の方が援助会員に登録されました。



受講のきっかけ

- * 子育てママさんに少しでも楽しく育児をしてもらいたいから。
- * 孫が生まれる予定で今の子育てがどんなものか勉強したい。
- * 虐待などのニュースをみて気になったから。



【子育てを取り巻く環境と子育て支援の必要性】
「サポーターは循環する」という言葉が素敵。幼少の頃に人生のベースができるので、小さなサポートで子どもの未来が少しでもよくなったら。

【子育てサポーターとして必要なこと】
「自分を助ける」ことを助けるというスタンスで、当事者が主役であることを忘れない姿勢が大事だとわかった。

【こどもの気がかりな姿と親への支援】
気がかりな子の対応法は自分の子育てにも生かせる。子どもと親の背景を知り全体をみて共感し安心してもらう大事さを感じた。

【こどもの事故と安全】
喉に異物がつまった時の救命法はとても勉強になった。一人で解決しようとせず、人に手伝ってもらう、みんなで助け合う大切さがわかった。

これからの活動

- * 初めてのことなのでサポートできるか少し不安もあるけど、こどもと関わることが楽しみ。
- * 若い頃よりも命を預かることへの責任の重さを感じる。無理のない範囲でできることをしたい。



【みんなで一緒にふれあい遊び】

初めて取り組んだ「ふれあい遊び」講座では手遊び、からだ遊び、紙芝居、読み聞かせなど親子で楽しめる内容で、依頼会員親子を囲んで楽しい時間を過ごしました。

HELLO!!



じゃんけん列車



手遊び



ゆらゆらブランコ

身体の中から笑顔あふれる時間を過ごすことができ、とても楽しく参加できた。
(援助会員)

みんな一緒に
ハイポーズ！



親子ともども楽しく安心できる時間を過ごすことができた。たくさんの援助会員さんと知り合えたので、利用を前向きに考えたい。
(依頼会員)



フォローアップ講座

乳幼児期から学童期の心と身体の特徴や関わり方、こどもの遊びなど援助活動に役立つ内容を、新規援助会員だけでなく全会員にも広く学び直してもらえるように、9月から10月にわたって全3回実施しました。



講座中の保育が6年ぶりに復活！

【こどもの心と身体の発達】

こどもが興味を持っている時に言葉で気持ちを代弁することや、教えてあげることがこどもの気持ちを豊かにできるのだと感じた。



【こどものあそび】

自己紹介でみんなの緊張がほぐれて良かった！懐かしいあやとりなど全部楽しかったので、こどもと一緒にやってみようと思う。

